

## 学習や生活に関する改善プラン

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です。

本校は、全国学力・学習状況調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

なお、さらに詳細な結果について、調査対象の学年に配付することとしています。

### 【全国学力・学習状況調査結果の概要】

#### 成果

令和3年度実施の全国学力・学習状況調査において、全国平均を上回る正答率であったものは以下のような問題でした。

国語…資料を用いた目的を理解することや、文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握すること

算数…商が1より小さくなる割り算の文章題で、問題から数量の関係を捉えて割り算の式に表し、計算をすること

質問紙調査の結果から、「将来の夢や目標を持っていますか。」という質問に対して、肯定的回答が90.9%と岡山県平均を大きく上回っています。同様の質問に対しても過去5年間と比較してもっとも高い回答を示しており、総合的な学習の時間での将来の仕事を調べる活動等が結果に反映されたものと考えます。

#### 課題と対応

国語では、目的や意図に応じて、理由を明確にしながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することなど、記述式の設問において正答率が全国より低く、課題がみられました。相手や目的を意識して何をどう表現すべきかについて具体的な文章を提示するなどしながら、自分の考えを記述することをさらに大事にしたいと考えています。

算数では、身の回りの事象について統計的に問題解決するために、集めるべきデータを判断したり、データを分類整理したり、表やグラフからデータの特徴や傾向を読み取ったりすることにおいて正答率が低く、課題が見られました。そこで、学校生活で、統計的に解決可能な問題を設定し、見通しを立て、どのようなデータを、どのように集めるか考えたり、集めたデータを分類整理したり、目的に応じて、観点を決めてグラフや表に表し、その特徴や傾向をつかむことができるようにしたいと考えます。

質問紙調査の結果からは、「家で、自分で計画を立てて勉強していますか。」という質問に対し、「あまりしていない」「まったくしていない」と回答をした児童が54.6%おり、全国の平均と比較しても非常に多いことが分かりました。また、「学校の授業時間以外に、普段（月～金）、一日当たりどれくらいの時間勉強しますか。」という質問に対しても、「1時間未満」と回答した児童が63.7%と全国の平均と比較して多く、「土日にどれくらいの時間勉強しますか」という質問も同様の結果であり、本校児童の学校以外での学習時間が非常に少ない傾向にあることが分かります。『家庭学習の達人』の取組を活用するなど学校でも家庭学習に取り組めるような啓発活動を行っていきます。

### 【保護者・学区の方へのお願い】

全国学力・学習状況調査の結果から、「家で計画を立てて勉強をしている」に対する肯定的な回答が少なかったり、平日の一日あたりの学習時間が少なかったりすることが分かります。先日行った『家庭学習の達人』などの取組の他、今後も継続的に課題の改善を進めていくために、宿題の種類や量、宿題以外の自主的な学習についての取り組み方などを考えたいと思います。

保護者の皆様には、本校で重視しております生活四原則「早寝・早起き・朝ごはん・ウンチ」について振り返り、児童が学習に集中して取り組むことができるよう引き続き応援をよろしくお願い致します。また、『家庭学習の達人』週間などの取組をきっかけに、ご家庭で学習習慣の確立に向けてお子様と話し合ったり考えたりする時間を設けていただき、学習への意欲が高まる声掛けをお願いしたいと思います。

## 令和3年度学習や生活に関する改善プラン（岡山市学力アセス）

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です

本校は、岡山市学力アセスの調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

【岡山市学力アセスの調査結果から】

## 成果

	教科・質問紙	成果
第4学年	国語	ローマ字のつづり方を理解している。
	社会	目的に応じて地図から情報を読み取ることができる。
	算数	かけ算・わり算や、小数や分数のたし算・ひき算など基礎的な計算ができる。
	理科	こん虫のからだのつくりを理解している。
	学習状況	家の人と学校の出来事について話をしている。
第5学年	国語	熟語の構成を理解している。
	社会	ごみの処理の仕方の工夫を理解している。
	算数	筆算を用いたたし算やひき算ができる。
	理科	植物の1年間の様子の変化について理解している。
	学習状況	授業においてICTを活用したいと思っている子どもの割合が高い。

## 課題とその対応

	教科・質問紙	課題	対応
第4学年	国語	目的や必要に応じて書くことに課題がある。	国語では、書いた文章を読み返して間違いを正したり、友達と読み合って目的に合っているかを確認したりする活動を取り入れていきたい。社会では、複数の資料をよく読んで特徴をつかみ、比較したり、必要な言葉を書き写したりするなどの活動を取り入れていきたい。算数においては、様々な器具を使って重さやかさを実際に計測するような体験的活動を取り入れ、実感を伴った理解ができるようにする。理科においては、風の強さやゴムの伸びなどと物の動きとの関係を表に整理するなど、風とゴムの力の働きについて考えたり、説明したりする活動の充実を図り、原因と結果を論理的に考える力を向上させたい。 学習状況については、「家ピース」による「メディアコントロール週間」を継続し、一人一人が頑張れる約束を守りつつ、メディア以外の過ごし方の良さに気付かせていきたい。
	社会	資料から市の様子や移り変わりを読み取ることに課題がある。	
	算数	はかりの重さを読み取ることに課題がある。	
	理科	風やゴムの力の働き方を捉えることに課題がある。	
	学習状況	普段、1日あたりゲームやインターネットをしている時間が長い状況が見られる。	
第5学年	国語	段落相互の関係に着目しながら、指示語が指す内容について叙述を基に捉えることに課題がある。	国語では、形式段落の冒頭にある指示語や接続語に着目し、その働きに注意することで、形式段落ごとのつながりを読み取り、話のまとまりを捉えさせる活動を取り入れていきたい。社会では、岡山県の白地図を使い、岡山県の様子をまとめたり特徴を書き入れたりする活動を取り入れていきたい。算数においては、資料から必要な数や単位を抜き出したり、図を活用しながら数量関係を捉えたりする場面を意図的に取り入れるようにする。理科においては、学習内容を、身近な自然現象と結び付けて考えたり表現したりする機会を設けたい。 学習状況については、家庭でのゲームに費やす時間を家庭学習の時間に変換していくことが求められる。そのため、子どもの意欲が継続する家庭学習の内容について見直しを進め、家庭と協力して取り組むようにしていきたい。
	社会	岡山県の人口や土地、平野や海などの名称や特徴の理解度に課題がある。	
	算数	変化のきまりに着目して資料や表から数を求めることに課題がある。	
	理科	身の回りで起こる現象について、学習したことと結び付けて説明することに課題がある。	
	学習状況	1日あたりのゲームに費やす時間が長く、家庭学習の時間が短い傾向が見られる。	

【保護者・学区の方へのお願い】

・平日の家庭での学習時間が30分未満である児童の割合が今年度も約25%で、高い傾向があります。  
 ・ゲームやインターネット（勉強のための利用を除く）を2時間以上する児童の割合が今年度は約55%と昨年度（約70%）より減少傾向にありますが、まだ高いと言えます。  
 これらのことから、長時間のメディア利用が家庭での学習時間に影響していると考えられます。「家ピース」によるメディア接触コントロールの取組の他にも、2学期からは「家庭学習の達人」週間を設けて計画的に家庭学習に取り組めるようにし、内容の充実も図っていく予定です。ご家庭で学習習慣の確立に向けてお子様と話し合ったり考えたりする時間を設けていただき、学習への意欲が高まる声かけをお願いしたいと思います。